

# ぎが11だより



## 6年間のはじめの一步

(4月10日 手子林小学校入学式)

12P	9~11P	3~8P	2P
審議案件と結果 (平成29年度予算可決)	議案に対する質疑	市政に対する一般質問	平成29年度の 市政運営はどのように

3月定例市議会



# 3月定例市議会開く

## 平成29年度の市政運営はこのように

### 《活力に満ちた 人輝く文化都市 羽生》の実現に向けて

河田市長は、今期定例会で提出された議案の提案理由説明に先立ち、平成29年度の市政運営について次のように述べられました。

## 市政運営方針

内閣府による月例経済報告によると、「景気は緩やかな回復基調が続いている。」とされていますが、先行きについては、「雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあつて、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要があります。」と分析されています。

一方、羽生市の財政を取り巻く環境は、市税収入の伸び悩みや社会保障をはじめとする経常経費の増加など、平成29年度も引き続き厳しい財政環境の中での市政運営となります。市民生活の安定と活力



ある羽生市を築くため、市政にまい進する所存です。そのため、平成29年度予算編成にあたっては、事業の必要性や費用対効果を精査し、限られた財源の効率配分に努めました。

また、住みよい羽生市を実現するため、未来への投資にも積極的に取り組んでまいります。

羽生市の平成29年度一般会計予算は、「日本一魅力ある羽生市」「単独での自主自律」そして「観光交流人口100万人」の3つのマニフェストの実現を加速させるため、前年度と比較して1千万円の減額となる、179億2,000万円となりました。

平成29年度予算は、平成28年2月に策定しました「羽生市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の実現予算とし、次のような実効性のある政策に取り組んでまいります。

## 地方創生に向けた取り組み

### 羽生市まち・ひと・しごと創生総合戦略

羽生市の人口は、平成13年度から減少に転じています。「羽生市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく四つの目標達成に向けた取り組みを行うことにより、住みたい、住み続けたいまちづくりを進めていきます。

#### ◎基本目標1

しごとをつくり、安心して働けるようにする

岩瀬土地区画整理事業の南工区内に商業施設の誘致の推進、農業生産効率の向上や農業競争力の強化を図るためのほ場整備事業の推進、商工会と連携した市内への創業支援の推進等を行います。

#### ◎基本目標2

結婚・出産・子育ての希望をかなえ、特色ある教育を提供する

富士河口湖町と合同カップリングパーティーを開催し男女の出会いの場の提供、不妊治療費の助成、児童生徒によるプレゼンテーションコンクール全国大会の開催、タブレット・パソコンを市内3小学校に整備するとともに小学校校にICT活用のさらなる推進等を行います。

#### ◎基本目標3

時代に合った地域をつくる

岩瀬土地区画整理組合が施行する都市計画道路や調整池の整備等に対して補助金の交付や上下水道の整備、市街地の浸水被害軽減のため調整池の用地取得の推進、空家等対策計画を策定し実態調査の実施、高齢者総合相談窓口である地域包括支援センター三か所を新設し運営の民間委託等を行います。

#### ◎基本目標4

地域資源を生かし、ブランド力を高める

第8回世界盆栽大会inさいたまに市内藍染業者とともに出展し羽生市の藍染を国内外にPR、「世界キヤラクターさみつとin羽生」を開催しキヤラクターの聖地「羽生市」をPR、観光農園を主とした事業の基本方針の策定、宝蔵寺沼ムジナモ自生地植生回復事業等を行います。



# 市政に 対する

# 一般質問

## そこが… 聞きたい



① これまで不納欠損が無い理由

② 現在の学校給食費の未納額

③ 具体的な未納対策

④ 学校により、集金方法や振替金融機関が異なっている現状に対する見解

## 学校給食費の現状について

中島直樹議員

一般質問は、提出議案以外で市政全般にわたる事務の執行状況や将来に向かっての方針などを執行部に問うものです。今期定例会では、3月8日、9日、10日の3日間にわたり11人の議員によって行われました。

主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

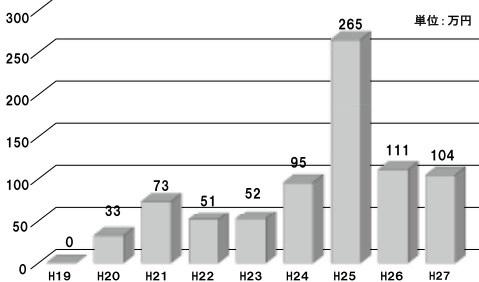
・質問 平成18年度以降、新聞社と文部科学省の調査により、学校給食費を滞納している児童・生徒の保護者の存在と、その対応に学校現場や自治体が苦慮している実態が明らかになった。以降、給食費の未納は社会問題化している。平成20年度まで羽生市では給食費の未納は無いとしていたが、平成21年度から未納額が決算書に記されるようになった。そこで、次の点について伺う。

・答弁（学校教育部長）

① 平成21年度から平成26年度まで、各学校及び市教育委員会による未納金徴収の際に自主納付を促すなどの努力により未納額が納付されてきたものである。

② 保護者や関係各機関に与える影響を考慮し、学校名は控えるが、未納額のある学校は、小学校では2校で、内訳として、59万1,099円と1万2,300円となっている。中学校では2校で、内訳として34万8,728円と9万3,100円となっている。

羽生市学校給食費未納額の推移



③ 入学説明会、PTA総会等で学校給食費の納入や就学援助費制度等について説明を実施し、就学援助費から学校給食費の天引きを保護者の理解のもと行なっている。また、学校からの納付依頼、教育委員会職員も同行した家庭訪問までの一連の催促を実施している。学校の段階的な努力、教育委員会との連携、就学援助費からあらかじめ差し引くなどの推進により、平成25年度の未納額をピークとして、市全体の未納額が減少してきたところであり、今後もこれらの取り組みを継続していきたいと考えている。

④ 金融機関の振替手数料に格差が生じている現状があり、今後については、地域や学校の状況を勘案しながら、格差が出ないよう各学校に働きかけて行きたいと考えている。

## 議会の詳細は 市議会会議録 をどうぞ

「羽生市ぎかいだより」は、毎年4回開催される定例会ごとに、本会議で行われた一般質問や議案質疑の主な内容、答弁などをお知らせしています。詳細にわたって内容をお知りになりたい方は、市議会で発行している「羽生市議会会議録」をご覧ください。

前会までの会議録は、市立図書館、各地区公民館、市議会図書室（市役所4階）に備え付けてあります。

また、市議会会議録は、市のホームページでも閲覧できます。平成8年以降の会議録がご覧になれますので、是非ご利用ください。

# 中小企業の

## 事業承継について

峯寄 貴生 議員

・質問 羽生市の経済を活性化させるには、積極的に事業を展開するリーダー、特に若手の存在が必要である。しかし、現状は厳しく事業が好調でも後継者不足により、廃業してしまう企業が多数ある。事業承継及びその取り組みを早期に促し、産業活力を維持。

発展させることが重要である。そこで次の点を伺う。  
①事業承継支援の現状と実態把握調査について  
②後継者塾や事業承継セミナーなど後継者育成支援について  
③金融と連携した事業承継支援について

・答弁(経済環境部長)  
①現在、羽生市では事業承継のための支援は、行っていない。実態把握調査については平成27年3月に商工会が実施した商工会事業要望調査があり、商工会の会員に40歳未満の後継者の有無や経営上の課題を調査したものである。この調査では、40歳未満の後継者の有無についての質問に対し69%が「いない」と回答している状況である。  
②先の商工会事業要望調査の結果からも、羽生市の商工業



事業承継に取り組む商工課と商工会

の後継者不足は深刻である。後継者育成支援は、商工業の振興にも必要な事業であるため、事業承継支援の実施を検討して行きたいと考えている。  
③昨年度から創業支援事業を積極的に実施しているが、商工会や各種金融機関などの連携やノウハウを事業承継支援に活用して行きたいと考えている。具体的には、商工会や日本政策金融公庫熊谷支店などの関係機関と連携した事業承継セミナーを来年度開催する調整をして行く予定である。

### その他の質問

・商店街政策について

# 不登校児童・生徒への支援について

斉藤 隆 議員

・質問 次の点を伺う。

- ①羽生市内小中学校の不登校児童・生徒の状況について
- ②不登校児童・生徒への適切で細やかな支援のため「児童生徒理解・教育支援シート」の作成が必要と考えるが、その見解について
- ③不登校児童・生徒への支援

目標を定めることが重要と考えるが、その見解について

・答弁(学校教育部長)

①不登校児童・生徒は、市内小学校全校で平成25年度3人、平成26年度8人、平成27年度8人、平成28年度2学期末で9人となっている。市内中学校全校で、平成25年度44

人、平成26年度38人、平成27年度29人、平成28年度2学期末で26人となっており、不登校児童・生徒の割合は、1・89%で県全体の2・23%、全



国の2・76%と比較すると少ない傾向にある。

②現在、市内各小中学校では、学校ごとの方法で不登校児童・生徒に対する対応状況等を記録しているが、今後は、現在各校で使用しているものと「児童生徒理解・教育支援シート」を比較検討しながら導入できるように取り組んで行きたいと考えている。  
③児童・生徒が不登校となる要因やきっかけは多種多様であり、支援する手立ても異なつたものとなる。その児童・

### その他の質問

・伝堀越館跡の整備について

# 防災・減災を考慮した 無電柱化の推進について

野中一城 議員

- ・質問 防災・減災の観点や災害時の緊急車両道路や避難所をはじめ、災害対応拠点への連絡道路にとって、無電柱化の推進は重要な施策であるとの考えから次の点を伺う。
  - ①市内の無電柱化している地域・路線の状況について
  - ②「短区間、スポットの無電柱化」の導入の見解について
  - ③岩瀬土地区画整理事業地内の無電柱化について
  - ④羽生市無電柱化推進計画の策定の見解について
- ・答弁 (まちづくり部長)
  - ①市内で無電柱化している地域・路線は中央3・4丁目地内を通る県道・通称プラザ通り

りのセブイレブンから羽生北小学校までの区間約500mとなっている。

②無電柱化は、短区間、スポットであっても電柱のケーブルを地中に埋設し、電気通信供給のためのボックスを設置しなければならず、市民プラザから電気館通りの間や中央公民館周辺については、道路の下に水道管や下水管が既に埋設されており、電線のケーブルを埋設するスペースが十分に確保できるかどうかの調査が必要になる。このよう



無電柱化されているプラザ通り

な課題を踏まえ、歩道の整備を伴う道路拡幅事業の際に、併せて実施して行くことが合理的であると考えている。

③事業の計画段階で無電柱化を検討した経緯があるが、組合施行のため、組合員である土地所有者から更なる負担増の理解が得られず、採用には至らなかった。

④今後、無電柱化推進法に基づき、国が無電柱化推進計画を策定、公表するものと思われるため、市としては国の計画を基本として策定について検討して行きたいと考えている。

# 駅近への多目的複合施設設置と羽生 プラスチック跡地の有効活用について

本田 裕 議員

- ・質問 ①羽生市の公共施設等総合管理計画の適切配置に向けて、羽生駅東口の駅近に多目的複合施設が出来れば、有効な駅前開発の牽引役になると考えるが、その見解について伺う。
- ②羽生駅東口の羽生プラスチック跡地の有効活用の展望と

市の取り組みに対する決意について伺う。

・答弁 (企画財務部長)

①土地区画整理事業など、新たな面整備による総合的なまちづくりの一環であれば、公共施設整備の可能性もあるが、現在の羽生駅東口に多目的複合施設を新たに整備すること

は、財政的にも非常に難しいと考えている。

また、公共施設等総合管理



羽生プラスチック跡地 (市営第3駐車場)

計画の基本的な方針では、新たな市民ニーズに対しては、新設を前提とせず、既存施設の集約化、複合化などにより機能の充実、見直しを図るとしており、今後はこれに基づき総合的に公共施設の効率化、合理化を図って行きたいと考えている。

②約5,600㎡の市有地の有効活用については、平成28年2月に策定した羽生市まち・ひと・しごと創生総合戦略の中でも羽生駅東口の市有地の活用を図る(IT産業系の誘

致)と位置付け、関係課職員で構成する羽生駅東口市有地活用検討ワーキンググループで事例研究や企業誘致の可能性を検討しているところである。今後も動向が注目される情報通信系の企業や人工知能AI関連企業などの誘致に努めて行きたいと考えている。

## その他の質問

・産業文化ホール南側駐車場の水たまり解消について  
・観光交流人口100万人を目指すための方策について



# 空き家・空き地バンク制度 について

永沼 正人 議員

・質問 空き家・空き地の有効活用の一環として、羽生市では平成25年から空き家・空き地バンク制度を設け、運用している。そこで、次の点を伺う。

- ①制度の現状について
- ②市ホームページのトップページ「引越し・住まい」と

ころに掲載されない理由及びホームページ上のデータリンクの問題について

- ③羽生市の制度改善点の指摘と改善への取り組み姿勢について
- ・答弁 (総務部長)
- ①これまで、延べ9件の登録があり、現在の登録件数は、

空き家が2件、空き地が3件となっている。また、成約件数は空き地が1件、空き家が3件となっている。

②現在、市ホームページでは空き家・空き地バンクについての情報は暮らしの情報の中の環境・衛生に掲載してある。その理由として、空き家・空き地の問題を近隣に迷惑や被害を与える環境の問題として捉えていたためである。しかし、現状のカテゴリーでは検索しにくいいため、改善し「引越し・住まい」のカテゴリー

に掲載する。

また、データリンクについては、物件の調査や照会の段階から協力をいただいている宅建協会のホームページにリ



空き家・空き地バンクに登録のある物件 (東6丁目)

ンクをはっているものである。③羽生市でも市内の空き家を自分の居宅として購入し住宅を改修する際には、住宅改修費補助制度の対象となり、上限10万円の補助金が受けられるため、空き家・空き地バンク制度利用者にも、この補助制度をPRして行きたいと考えている。

## その他の質問

・羽生駅を秩父線SLパレオエクスプレスの始発駅にできないか

# 小松台工業団地及び川崎一丁目 二丁目の緑地の管理について

阿部 義治 議員

・質問 いずれの工業団地とも、造成して相当な年数が経過しているが、市が管理する緑地の管理の現況等について、次の点を伺う。

- ①小松台工業団地の樹木剪定や雑草刈りの現況について
- ②小松台工業団地は、樹木が密集しているが、邪魔な木を

取り除く考えについて

- ③加羽ヶ崎側の緑地帯の中に、ウッドチップを敷き詰め、遊歩道として利用できないか
- ④川崎一丁目二丁目の雑草管理の現況及び須影団地交差点南の歩道内の円形木造ベンチの改修について
- ⑤工業団地やイオンモール羽

生周りに植栽されているサカキやモチノキの病虫害対策について

- ・答弁 (まちづくり部長)
- ①樹木剪定のうち、高木につ



小松台工業団地の樹木

いては、業者に委託し、低木と緑地の雑草刈りについては、シルバー人材センターに委託し定期的に実施している。

- ②伐採も含め、樹木の種類ごとの剪定頻度や方法について見直しを図っていく。
- ③発生材のリサイクルといった環境面でのメリットもあることから、先進事例を含め、調査研究していく。
- ④川崎一丁目二丁目の雑草管理については、年間4回の雑草刈り払いを実施するとともに、市職員による樹木の剪定

や消毒も適宜実施している。

須影団地交差点南の歩道内のベンチについては、板が腐食しており、地元自治会の皆さんに意見を伺いながら改修などの対応方針を決定していく。

⑤消毒を適宜実施してきたが、専門家の意見を伺いながら、害虫の駆除や予防に効果的な消毒などを実施し、緑地環境の適正な保全に努めていく。

## その他の質問

・市の職員研修について

# 市内公立小中学校教職員の長時間労働は正及び健康管理について

柳沢 暁 議員

・質問 教職員の多忙化を解消するために文部科学省は昨年6月「学校現場における業務の適正化に向けて」の通知を出した。主な内容は、「教員の担うべき業務に専念できる環境を確保」「教員の部活動における負担を大胆に軽減」「長時間労働という働き

方を見直す」「教育委員会の支援体制を強化」である。そこで、次の点について伺う。  
① 時間外の在校時間が1ヶ月80時間を超えた教職員の人数と平均時間について  
② 始業、終業時刻の確認、記録の方法について  
③ 長時間労働是正に向けての

取組と今後の方針について  
④ メンタルヘルス対策の推進について

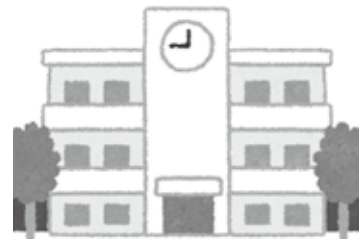
・答弁(学校教育部長)

① 小学校の教職員200名と中学校の教職員95名のうち、勤務時間を除く在校時間が80時間を超えた小・中学校それぞれの教職員の人数は、11月が17名と8名、12月が15名と4名、1月が4名と4名で、勤務時間を除く在校時間のそれぞれの平均時間は、11月が47時間と35時間、12月が40時間と32時間、1月が40時間と

31時間である。

② 学校ごとに作成している在校時間記録簿により、管理職が把握するとともに、教育委員会に月ごとに報告している。

③ 学校事務の共同実施や通知



表・指導要録の電子化などを進めてきた。今後も、校長を通してワークライフバランスなど教職員の意識改革の推進が図れるよう指導していく。

④ 教職員それぞれが持っている能力を最大限に発揮し、生き生きと児童生徒に触れ合うことが出来る労働環境を保証するため、長時間労働の是正と健康管理の取組が推進できるように各学校を指導していく。

## その他の質問

・学校給食費無料化について

# 市長の海外渡航について

島村 勉 議員

・質問 市長は、平成29年2月23日から27日までの5日間、姉妹都市フィリピン共和国バギオ市に渡航した。

次の点について伺う。

① 正式な招待状について  
② バギオ市訪問の目的と効果、公費負担について  
③ 議会開会を遅らせてまで行

く必要性について

・答弁(市長)

① 平成28年12月2日付けでバギオ市長から羽生市長と市議会議長宛にバギオ・フラワーフェスティバル2017への参加依頼に関する招待状をいただいた。

② 訪問の目的は、両市の関係を



さらに強固なものにすること

や、羽生市の労働力不足を担う人材交流をさらに進めていくことなどである。効果は、バギオ市長や市議会議員をはじめ、関係者とも交流が図れた。また、バギオ市長から人材交流の窓口となる方を紹介いただくなど今後の両市の発展のために、よりよい機会であった。

公費負担は、市長、随行職員2人の計3人分の旅費、日当が25万3,470円、お土産代2万6,220円、議長の旅費5万5,990円などである。  
③ フラワーフェスティバルは、

## その他の質問

・羽生市を発展させるための活性化策について

# 平成29年産からの米の生産調整について

奥沢 和明 議員

・質問 平成29年産からの米の生産調整について次の点について伺う。

①平成29年産の推進方針について

・経営所得安定対策  
・生産数量目標

②平成30年産以降の米政策の見直しについて

・生産数量目標配分廃止に伴う考え方  
・戦略作物の生産推進  
・担い手の育成と経営の安定

・答弁 (経済環境部長)

①国からの支援措置である経営所得安定対策をうまく活用しながら、水田をフル活用できるような主食用米と飼料用米

や麦などの作物を組み合わせた生産体制を構築し、農業の経営安定を図っていく。

埼玉県から羽生市への生産目標数量は、8,279トン配分されており、前年比90トン、1%の減である。

②米価の安定には、需要に応じた生産を続けるという農家の皆さんの協力が不可欠です。そのため、国の生産数量目標配分は廃止されるが、国や県からの情報を踏まえ、農家の皆さんには生産数量目標を自主的な取組参考値として



引き続き情報提供していく。戦略作物として位置づけら

れているものは飼料用米など非主食用米、麦、大豆などである。戦略作物について羽生市農業再生協議会から生産者の皆さんへ需要動向を踏まえた目標作付面積の情報を提供していく。また、国では引き続き、水田フル活用に向けた支援措置を講じることとなっているので、最大限活用していく。

農地の基盤整備事業と農地中間管理事業を一体的に推進し、担い手への農地集積、集約などに取り組んでいく。

# 新病院周辺の道路整備及び交通安全対策について

丑久保 恒行 議員

・質問 羽生総合病院新病院は、平成30年5月オープンを目指し急ピッチで工事が進んでいる。新病院周辺の道路整備及び交通安全対策について、次の点を伺う。

①国道122号の交差点改良について

②新病院周辺の道路整備について

③交通安全対策について

・答弁 (まちづくり部長)

①現在の病院の来院手段は、自家用車が97%で、今後さらに車での来院者の増加が予想される。そこで、新病院開院に合わせ、国道122号から直接進入できるように、平成29

年度に中央分離帯を一部撤去するなど交差点の改良を実施する。また、岩瀬土地区画整理地内から交差点に交わる道路は、国道に進入するのみの



改良される交差点

一方通行規制となる。さらに、交差点の信号機が設置されることは、調整済みである。

②③新病院の開院により、人や車の流れは大きく変わることを予想されるため、通行者特に児童の安全確保が喫緊の課題である。そのため、平成29年度は、緊急対策として、埼玉純真短期大学前から岩瀬小学校までの約400mの区間にグリーンベルトを設置する。また、道路標示の改良や路面表示の再塗装などを行い、ドライバーへの注意喚起によ

る交通事故防止に努めていく。さらに、主に児童を対象とした交通安全講習会などの安全対策についても関係機関と連携して実施していく。今後、地元や学校、警察など関係機関と協議を重ね、歩行者、特に児童が安心して登下校できるように、また、車両が安全に通行できるように効果的な安全対策を検討し、しっかりと対応していく。

その他の質問

・防犯カメラの設置について



# 議案に対する質疑

「議案に対する質疑」は、議会に上程された議案について、質疑を行うことであり、賛否の意思決定をするため議案の提出者に対し説明や考えを求めめるものです。今期定例会では、次の議員によって行われました。

## 島村 勉 議員

○議案第1号 平成29年度羽生市一般会計予算  
・質疑 観光協会事業の推進に関する予算が平成28年度と比較して226万7,000円の増額となった要因について伺う。

・答弁 (経済環境部長)

観光協会事業の推進にかかる経費は、羽生市観光協会の人件費など運営に要する経費と、まつりなどイベント開催に要する経費である。

増額となった主な要因は、観光協会の組織体制の強化を行うため、職員1名を採用するための人件費の増額によるものである。観光協会は、行政や観光事業者と連携した観光情報発信や観光資源の掘り起こしなど、羽生市の観光地づくりの実行機関としての

役割がある。このような観光事業の充実を図ることは、市のさらなる活性化に必要である。こうしたことから観光協会の組織体制の強化に取り組みむことは、重要であると考え、体制を改めるものである。

今後、観光交流人口100万人の実現に向けて、市と観光協会とが、車の両輪となり、事業に組んでいきたい。

## 保泉 和正 議員

○議案第1号 平成29年度羽生市一般会計予算  
・質疑 岩瀬土地区画整理事業における調整池の築造工事の内容について伺う。

・答弁 (まちづくり部長)

南工区に容量約3万1,000m<sup>3</sup>の調整池を整備するものである。

総工事費は、約5億4,000万円を見込んでおり、



調整池予定地 (中岩瀬)

工事期間は、平成30年度までの2カ年を予定している。

平成29年度は、掘削工及び遮水工を実施する予定である。効果としては、土地区画整理地区の下流に位置する、東武鉄道の東側の市街地区域エリアへの雨水の流出を抑制する。そのほか、早生田堀と金子落排水路の水位上昇の緩和にも寄与し、そのことにより、排水路が南中学校周辺の雨水を受け入れられるようになるため、道路冠水などの浸水被害の軽減につながる。

### その他の質疑

・議案第2号・第6号

## 斉藤 隆 議員

○議案第1号 平成29年度羽生市一般会計予算  
・質疑 生活に困窮している家庭の子どもの学習支援事業について次の点を伺う。

- ①生活困窮世帯の概念について
- ②具体的な事業の取組及び委託先について
- ③包括的な取組への見解について

・答弁 (市民福祉部長)

- ①生活保護法による被保護世帯及び被保護世帯に準ずる程度に困窮していると認められる世帯と捉えている。
- ②市内の生活困窮世帯に属する中学生を対象に、無料の学習教室を開催し、習熟度に合わせ基礎学力の向上を目指すものである。また、単に勉強を教えるだけでなく、イベントなどを通じて、地域との出会いの機会を設けていきたいと考えている。
- 委託先は、教育経験にたい、子どもの貧困対策等に深い理解を示している市内の団体等を考えている。
- ③子どもが真に自立するため

の支援を行うものと考えており、学校や地域など関係機関と連携を図っていきたい。

### その他の質疑

・議案第3号・第6号・第8号・第9号・第13号

## 丑久保 恒行 議員

○議案第1号 平成29年度羽生市一般会計予算  
・質疑 英語力向上のためのALT (外国語指導助手) について次の点を伺う。

- ①学校への配置状況及び効果について
- ②配置計画について
- ③全小学校へALT配置を求めることについての見解

・答弁 (学校教育部長)

①市内全ての中学校及び岩瀬小学校、村君小学校は、それぞれ1名のALTが駐在しており、それ以外の小学校は、2校に1名もしくは、3校に1名を配置している。その効果は、授業におけるネイティブスピーカーによる英語に触れる機会の充実、国際理解教育の充実である。英語村推進事業の中で英語教育に取り組

む村君小学校と岩瀬グローバルタウン構想の中でグローバルスクールに取り組み岩瀬小学校では、児童英検を受験し、両校ともに全国平均を上回る効果が出ている。

②平成29年度は、平成28年度と同様の配置を計画している。

③全ての学校への速やかな配置は難しいが、今後A.L.Tの増員を検討していきたい。

**中島直樹 議員**

○議案第1号 平成29年度羽生市一般会計予算

・質疑 市内小中学校ICT活用の推進について具体的な内容を伺う。

・答弁(学校教育部長)

この事業は、市内全小・中学校に順次タブレットパソコンを導入し、授業に活用できるようにすることで児童・生徒にとってわかりやすい授業になり、学力の向上を目指すものである。

平成29年度は、新郷第二小学校に31台、須影小学校に41台、三田ヶ谷小学校に31台の導入を予定している。

現在、各学校に配置されて

いるノート型パソコンの台数をタブレットパソコンにすべて交換する予定である。また、その際、無線LANの工事も行うものである。

配置時期は、3校によって工事開始日は異なるが、どの学校も8月上旬から工事を始め、8月下旬には完了する予定である。



その他の質疑

・議案第12号

**永沼正人 議員**

○議案第1号 平成29年度羽生市一般会計予算

・質疑 本年度から救急車が、1台増車され、3台体制となるとあるが、増車により整備費、燃料費などの経費の増加はどれ位になるのか。また、3台体制になることで病院への搬送時間がどの程度短縮されるのか。時間短縮により救命率ほどの程度上がると予想

されるのか伺いたい。

されるのか伺いたい。

・答弁(消防長)

救急車を1台維持するため経費として、燃料費・車両点検費・通信費・積載救急資機材保守費・救急消耗品費が必要となり、年間で約70万円程度になる見込みである。

次に、3台体制になることで病院への送致時間がどの程度短縮されるのかについては、

常時救急隊が3台体制となることで一定の時間帯に救急要請活動が集中した場合でも、迅速に対応することができ、現場到着時間及び医療機関収容までの時間の短縮につながるものと考えている。

また、このことにより、今までよりも早く医師による救急処置や救命処置などの治療が開始でき、救命率の向上及び、後遺症の軽減などの効果が上がるものと考えている。

また、このことにより、今

急処置や救命処置などの治療が開始でき、救命率の向上及び、後遺症の軽減などの効果が上がるものと考えている。

その他の質疑

・議案第6号

**峯崎貴生 議員**

○議案第3号 平成29年度羽生都市計画下水道事業特別会

計予算

・質疑 雨水管理総合計画の策定について次の点を伺う

①策定までの工程について

②策定期間について

・答弁(まちづくり部長)

①まず基礎調査として、市内の浸水被害の発生状況や下水道計画、雨水幹線整備状況などの既存資料の収集を行う。

次に、基礎調査の結果をもとに検討対象区域を設定し、地域の実情に応じた雨水対策を行うため、浸水要因を分析し、地域ごとの課題を整理する。

その後、大雨などによる浸水のシミュレーションを行い、地域ごとの浸水の危険性を想定し、対策目標を設定する。

設定した目標に基づき、事業費の制約などを考慮した短期・中期・長期の段階に応じた対策方針を策定し、計画として位置づけていく。

②平成29年度は、当計画に基づいた下水道全体計画と事業計画の見直しを予定しており、上半期中の策定を目指している。

また、栽培から収穫、出荷、販売まで一貫した模擬経営の実践や、指導農家のもとの実践研修により農業経営における技術と知識を身につけ

その他の質疑

・議案第1号・第8号

**野中一城 議員**

○議案第1号 平成29年度羽生市一般会計予算

・質疑 新規就農支援事業の内容及び新規就農希望者の目標人数について伺う。

・答弁(経済環境部長)

新規就農支援事業は、農業を始める方に対し、安心して農業を始めていただけるよう、就農の準備段階から経営を開始した後の就農初期段階までの総合的なサポートをするための事業である。

まず、栽培から収穫、出荷、販売まで一貫した模擬経営の実践や、指導農家のもとの実践研修により農業経営における技術と知識を身につけ



大雨による道路冠水(南5丁目)



- 農への準備を行う。また、就農後は、県の普及員と連携し、農業技術、経営相談を行うとともに、国の事業である青年就農給付金を活用し、新規就農者の経営安定をサポートする。そのほか、県農業大学校に通う方の授業料と教科書代を補助する市単独の補助制度を設け、市内での円滑な就農に結び付けようとするものである。
  - 本年度の新規就農希望者の目標人数は、4名としている。
- ・議案第16号  
**その他の質疑**
- 阿部 義治 議員**
- 議案第1号 平成29年度羽生市一般会計予算
- ・質疑 消防職員及び消防団員の防火衣等の整備状況について次の点を伺う。
  - ①防火衣の機能及び性能並びに従来品との違いについて
  - ②一式の費用について
  - ③職員・団員それぞれの普及割合について
  - ④近隣消防本部や消防団における普及割合について



消防職員の防火衣

・答弁 (消防長)

①耐熱効果が高いと同時に蓄熱性が高く、内側に保冷剤を収納する構造で隊員の身体冷却に効果があり、熱疲労を軽減できる。防火スポンは、腰までの完全防御であり、耐久性・耐熱性に優れ、従来のものと比較すると安全性が格段に高いものになっている。

②職員用は一式16万円、団員用は一式5万円である。

③職員用は、全て更新している。団員用は、平成26年度から5カ年計画で整備中であり、普及率は60・4%となっている。

④職員用は、近隣全てで更新している。団員用は、加須市は全て更新しており、行田市

水防訓練は、出水期にあたり水防団の士気を鼓舞し、工法技術の習得と作業能力の向上を図り、水防体制の整備強化に資することを目的として毎年実施しています。



水防訓練のようす

では、新型の防火衣について、検討中とのことである。

**水防訓練開催**

4月15日(土) 加須市新川地区防災ステーションにおいて加須市・羽生市水防団水防訓練が開催され、市議会議員も参加しました。講師の指導のもと水防団が、土の作りやシート張り、月の輪などの工法訓練を実施しました。

月	火	水	木	金	土	日
			6月1日	2	3	4
第12回日刊ゲンダイ杯						
5	6	7	8	9	10	11
BOATBoyCUP						18
12	13	14	15	16	17	18
BOATBoyCUP						

※埼玉県都市競艇組合主催のみ掲載しております。

◆開催日◆



**ボートレース戸田**

県内15市で構成する都市競艇組合の収益金の一部は、毎年構成各市に交付され、市民の皆様の暮らしに役立っています。平成28年度は、6千万円の交付金がありました。



本会議を傍聴するようす

**傍聴について**

羽生市議会では、本会議の傍聴を実施しております。

市役所5階で受付をしていただければ、どなたでも傍聴できます。(一般席48席)

また、常任委員会の傍聴(6席)も実施しておりますので、開催日等をご確認のうえ、お気軽におこしください。

常任委員会は午前9時30分に開会いたしますので、傍聴を希望される方は開会前においでください。

なお、開会後の入退室は休憩中をお願いいたします。

詳しくは、市のホームページをご覧ください。議事事務局にお問い合わせください。

☎048(561)1121  
 (内線) 513

### 3月定例会 審議案件とその結果

#### ●議決結果の公表について

議会改革の一環として、「市民に明確な意思表示をする」という目的のもと、議員自らの考えを分かりやすく市民に示す手段のひとつとして、各議員の表決結果を掲載しています。

薫風会…薫風 拓政会…拓政 公明党…公明 日本共産党…共産 無会派…無派 【賛成：○ 反対：× 退席：退 欠席：欠】

議案番号	議案名	薫風		拓政		公明		共産		無派		審議結果				
		本田裕	峯壽貴生	永沼正人	奥沢和明	根岸義男	松本敏夫	丑久保恒行	島村勉	保泉和正	野中一城		斉藤隆	柳沢暁	阿部義治	中島直樹
第1号	平成29年度羽生市一般会計予算	○	○	○	○	○	-	○	×	×	○	○	×	○	×	原案可決
第2号	平成29年度羽生市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	○	○	原案可決
第3号	平成29年度羽生市都市計画下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	○	○	原案可決
第4号	平成29年度羽生市中小企業従業員退職金等共済事業特別会計予算	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第5号	平成29年度羽生市住宅資金貸付事業特別会計予算	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第6号	平成29年度羽生市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	○	○	原案可決
第7号	平成29年度羽生市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	○	○	原案可決
第8号	平成29年度羽生市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	○	○	原案可決
第9号	平成28年度羽生市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	○	○	承認
第10号	平成28年度羽生市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	○	○	承認
第11号	羽生市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第12号	羽生市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第13号	羽生市介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第14号	羽生市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	○	○	原案可決
第15号	羽生市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	○	○	原案可決
第16号	羽生市融資審査委員会設置条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第17号	市道路線の認定について	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第18号	市道路線の廃止について	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※ 議長は採決に加わりません。

### 平成29年度予算を可決

・一般会計予算

179億2,000万円(前年度比1,000万円減)

・特別会計予算6会計合計

143億9,150万円(前年度比4億9,134万円増)

・水道事業会計予算

21億3,673万円(前年度比2億5,655万円増)

### 6月定例会市議会の日程

6月定例会市議会は、左記のような日程で予定されています。

月日	曜日	時刻	内容
6月13日	火	午前9時30分	本会議初日(開会)
6月14日	水		
6月19日	月		
6月20日	火	午前9時30分	本会議(議案に対する質疑、市政に対する一般質問)
6月21日	水	午前9時30分	本会議(市政に対する一般質問)
6月22日	木	午前9時30分	本会議(市政に対する一般質問)
6月23日	金	午前9時30分	各常任委員会
6月24日	土		
6月28日	水		事務整理等のため休会
6月29日	木	午前9時30分	本会議最終日(閉会)

※6月定例会市議会の日程は、6月9日(金)に開催予定の議会運営委員会にて正式に決まりますので、変更になる場合もあります。



# 議会のインターネット中継をご利用ください

(ご自宅のパソコンやスマートフォンで視聴できます)

羽生市議会では、市民に分かりやすい開かれた議会を目指し、インターネットを利用した議会中継を配信しています。

中継は、議場内に設置したカメラを通じ、本会議場の審議の様子をライブ(生)配信と録画配信でご覧いただけます。また、市庁舎1階ロビーのモニターでも視聴できますので、是非ご覧ください。

視聴方法：羽生市ホームページ (<http://www.city.hanyu.lg.jp/>) から視聴する場合



①市議会をクリック

②議会中継をクリック

③ライブ中継または会議名から選ぶをクリック



### ●動作環境

レイアウトや表示・機能を正常にご覧いただくには、以下のOS等をご利用ください。

- ・ WindowsOS : Windows 7以上
- ・ MacOS : MacOS X10.7.5以上
- ・ AndroidOS : Android3.2以上
- ・ iOS : iOS 6以上

対応ブラウザ：InternetExplorer 9以上



④再生ボタンをクリック

## こちらのQRコードからもアクセスできます。



# 各常任委員会の経過

## 総務文教委員会

委員会上に付託された案件は、議案7件でした。

平成29年度羽生市一般会計予算の審査では、農業費において「観光農園等基本方針策定において、市としてある程度方針が定まっているのか、何う。」との質疑に対して「水郷公園や三田ヶ谷農林公園周辺を拠点としながらも市内全域を対象に観光農園などの農を中心とした方向であるが、具体的な事業構想は基本方針に盛り込む予定である。」との答弁がありました。

和橋方面から新病院に右折する場合、安全のため信号機のある交差点が必要になることから、病院側から市に対して協力したいとの申し出があったものである。」との答弁がありました。

次に平成28年度羽生市一般会計補正予算第6号の審査では、教育費において「西中学校校舎3号館大規模改造工事を夏休み中に行うとのことだが、完了できるのか、何う。」との質疑に対して「本格的な工事は、夏休み中に行うが、足場の組み立て等の準備工事は事前に進めておくなど、授業に支



審査結果を報告する永沼委員長

## 都市民生委員会

委員会上に付託された案件は、議案13件でした。

障が無い工程で完了させる予定である。」との答弁がありました。

平成29年度羽生市一般会計予算の審査では、「生活保護費の内、生活扶助費の成人1人の支給額及び国民年金の支給額との比較について、何う。」との質疑に対して「1人世帯の場合、月額約6万8,000円で、国民年金は40年の満額積立で月額6万5,008円の受給額となっている。生活保護費は、生活を最低限維持するものであるため、国において見直しを図っているところである。」との答弁がありました。

また、羽生市水道事業会計予算の審査では「平成28年度と比較し給水戸数は増えたが、給水量は減っているがその要因について、何う。」との質疑に対して「給水戸数の増加の要因は、岩瀬土地区画整理事業地内を含め住宅の新築が多く見受けられること、单身世帯が増えていることなどが考えられる。また、給水量の減少の要因は、給水人口の減少や節水によるものと考えられている。」との答弁がありました。



審査結果を報告する島村委員長

ご意見などを  
編集委員会まで

048(561)1121  
(内線)513

《議会だより編集委員会》

委員長	松本敏夫
委員長	永沼正人
委員長	斉藤隆
副委員長	中島直樹
委員	島村勉

3月定例市議会傍聴者数

3月1日	7人
3月7日	3人
3月8日	9人
3月9日	29人
3月10日	17人
3月24日	30人
計	95人でした。

常任委員会傍聴者数

3月13日	0人
3月14日	2人
3月16日	1人
3月17日	0人
計	3人でした。